

MINAMISOMA

南相馬市サポーター 会報誌
magazine for
minamisoma supporter

ミナミソウマガジン
2024 winter

はじめの一歩を
踏み出して
カフェ開業へ



MINAMISOMA

「暮らす」も「働く」も、いろんな

な巡り合わせの先にあるもの。

縁あって南相馬と出合ったひと

組の夫婦が、今、自分たちの住ま

いと仕事の礎を築くべく奮闘し

ています。自らの手でつくること

は、たやすいことではありません。

でも、ここでならと思えた場所

だから。松野夫妻がリノベーション中の建物、カフェ「コクリヤ」

がある鹿島区を訪ねました。



*今号はぜひ、「ミナミソウマガジン vol.4」と共にお楽しみにください。

目次 Contents

2 カフェ開業へ、はじめの一歩を踏み出して

8 南相馬のステキなお店

10 なんだか気になるみなみそうま

11 鹿島御子神社の火伏せ祭り

侍の日常
わたしの推しがやげ

カフェ開業へ はじめの一歩を 踏み出して



手探しで自分たちの居場所をつくる

真野川の河川敷からほど近いのどかな住宅街の一角に、松野和志さんと美帆さん夫婦の自宅はあります。つても頼って格安で借りられた庭と倉庫がついた物件で、現在鋭意工事中。「いい出会いに恵まれた」という大工さんと一緒にD-I-Yで試行錯誤もしながら、カフェ「コクリヤ」は少しずつかたちになってきました。

「ここが入り口になつて、あつちがキッチン、倉庫の部分も客席になる予定で……」と和志さんが身振り手振りで一生懸命に説明してくれると、にぎわうカフェの姿が目の前に立ち現れてくるようです。美帆さんは、そんな和志さんに寄り添い、ときにはツッコミを入れながらニコニコ。息の合った2人にこれまでの話を聞いてみると、歯車がうまく噛み合つてここまでたどり着いたのだと感じます。

神奈川県座間市出身の和志さん曰く、「ふるさとの景色は原町みたい」と振り返ります。一方の美帆さんは、福島県大熊町出身。現在家族はいわき市に暮らしています。2人が出会ったのは東京ですが、いつか地方へという想いは共通していたそう。「家族で暮らすなら、周りに住んでいる人の顔がわかるような方がいいな」と子ども時代の記憶からも2人は考えていました。「将

来カフェをやつてみたい」とも、和志さんは美帆さんと出会ったときに言つたそうです。でも、移住もカフェも「いつか」のつもりでいたら、いつのまにか彼が都内の移住相談窓口に足繁く通っていたんです」(美帆さん)「東京で暮らしながらも、休みの日は地方へ遊びに行つているなど気づいて。仕事さえあれば今移住してもいいんじゃないかなって」(和志さん)

果たして、約30回も移住セミナーなどに参加するほど徹底的なリサーチを経て辿り着いたのが、美帆さんの実家も近い南相馬市でした。移住先は、釣りに惹かれて長崎県の五島列島、東京から近い山梨県など、全国を視野に入れていきました。でも、今後のことを考えると、美帆さんの実家に近い場所は魅力的。そんな話を振つてみたら、美帆さんは実家周辺の状況をSNSなどで追いつけていたと判明しました。

「大学時代に南相馬に学習支援ボランティアで來ていたこともあって、もともと縁があつたんです。その後も、おもしろそうな動きがあるなど注目はし



ていました」(美帆さん)

「そんな話もしつつ、ちょうど市役所の方や移住して働くことになるまちづくり会社のMYSFにも出会って。起業支援プログラムを紹介されました。ちょうど3歳前だったことなどもあり、今が自分の船を漕ぎ出すタイミングだと思つたんです。といつても、一つひとつのが決断は重苦しいものではなくて、軽やかに決めていった感覚ですね」(和志さん)

南相馬市に何度か足を運んで、さまざまな人に出会つたこと、マルシェで淹れたコーヒーを喜んでもらえたことなども、松野さんたちの背中を押しました。東京と一緒に暮らしてから貯めていた軍資金も投じ、引っ越し。南相馬の住まいの改修を始めたのは、2023年の夏のことでした。

それぞれができること、一緒だからやれること

取材時(2023年秋)は、和志さんはMYSFに週に何度か、美帆さんは生活雑貨などを扱ういわきの店で不定期で働きながら、カフェの開店準備を進めていました。仕事や暮らし方について世界観がしつかり頭の中にある美帆さん、改装にかかる経費やメニューの原価計算など現実的な数字に細かく向き合える和志さん。2人の得意が組み合わされたチーム力は、なかなかに強力そうです。

コクリヤは、20席程度の店内に、テ

イクアウトもできる店になる予定。まだ開店まで日はあるといつても、スコード決め、食材の仕入れ先の選定など、頭を悩ますことは山ほどあります。心身ともに全力の、待ったなしの日々が続いているようです。

「話し合いながら一緒に進められる大

工さんに出会うにも時間がかかりました。それに僕たちがつくりたいのは『ピカピカして新しいもの』じゃないけど、そのニュアンスを伝えるのが難しくて、使い込まれた風合いや手仕事の素朴さを出したいって、大工さんにとっては難しい注文だと思います」(和志さん)

とはいって、ひと足先に整つてきた自宅部分のキッチンと居間は、すでに和風のカフェの面持ち。少しずつ集めてきた古道具や、手作りの家具が置かれた空間には、年配の大工さんと丁寧に会話を重ねた跡も反映されているような気がします。

そのキッチンでスコーンをつくる美帆さんと、コーヒーを入れる和志さんのまわりの空気は、くつろいでいるながら、どこを切り取っても絵になり、眺めているだけで幸せな気持ちに満たされていました。

「1人で黙々と作業するのが好き」というお菓子担当の美帆さん。和志さんも手伝いますが、「粉の気持ちになつたら、そんなにぎゅっとこねないでとか、彼女はなかなか厳しいですよ(笑)。

いずれスタッフも雇うとしたら、再現性があるレシピにしないといけませんが」とのこと。彼の領分はやはり、お菓子に合うコーヒー。夫婦両者が心を込めて手を動かす姿をカフェの客席から眺められるのが楽しみです。

「僕たちのカフェは、ずっとここに住んでいます」(美帆さん)

「僕たちのカフェは、ずっとここに住んでいる人も気軽に立ち寄れる場所にしたいです。同時に、カフェをきっかけにまち巡りをする人が増えてほしい。地域が盛り上がって、さらにパン屋さんや本屋さんができたらしいなあといえます」(和志さん)

気負うことなく、自然とそんな言葉が出てくるほど、2人はこの地域に溶け込み暮らし始めているのでしょうか。

「一番の根っこにある目標は、自分たちが楽しく生きること。そのためには、自分たちが住む場所を楽しくしていくたい。それは2人だけができることがないけど、このカフェが起点になつたら嬉しい」と夫婦は声を揃えます。

コクリヤの船出に、いい風が吹きますように。新天地で一步踏み出した2人は今、まちの噂的。みんながコクリヤ開店の春を心待ちにしています。

移住 & 起業、

こんな支援があります

人生の一大アクションには、上手に支援を受けたり味方を増やしたりすることも大事です。松野さんも利用したサポートや、南相馬市で実施している支援策の一部を紹介します。

**空き家利活用
推進事業補助金**

空き家バンクに登録されている物件を改修して居住する場合、改修費用の6分の1、上限100万円まで補助されます。加えて、移住や、居住区域による金額加算もあります。空き家活用時のハーダルのひとつでもある家財処分費についても、最大20万円まで補助があるありがたい制度です。

**福島県12市町村
起業支援金**

移住して、起業をする場合に、起業に要した経費の4分の3以内、最大400万円の補助を受けられます。申請サポートや専門家による事業計画のブランチアップが無料で受けられるのも嬉しいところ。事業期間が定められているため、松野さんはそれまでにがんばってカフェを完成させるべく仕事を進めています。

**福島県12市町村
移住支援金**

福島県外から移住し、就職もしくは自ら事業を営むことが前提です。5年以上継続して居住することなどを条件に、単身で120万円、世帯で200万円が支給されます。さらに東京圏から18歳未満の子どもと一緒に移住する場合は子ども1人あたり最大100万円が加算されるので、家族での移住にもおすすめです。



南相馬のステキなお店



おいしいお菓子やコーヒーを買いに出かけるのも好きな松野夫妻。日々お店に足を運んでいます。自分たちも店舗構えるタイミングは、いつもは聞けないアレコレを、じっくり聞けるチャンスかも。開店準備のさなか、南相馬にある3店舗に話を聞きに出了かけました。



型からあふれた皮の部分はカットして、綺麗な觸のかたちにするのもこだわり

**看板商品は黒糖風味の
無添加たい焼き**

地元で長く愛される菓子店



秋限定の「カボチャのチーズケーキ」と「紫芋のタルト」。
鮮やかな色合いは、野菜や果物をふんだんに使って表現

**好きを詰め込んで
味わいにも、見栄えにも**



**お客さんと一緒に
味わいたいコーヒーは
食事と一緒に
お客様とつくる地元の味**

「お菓子と一緒に提供するコーヒーの話がしたい」と松野夫妻が訪ねたのは、2023年冬に仙台から移転オープンしたばかりのロマリアコーヒー。世界各国の豆を自家焙煎して淹れるハンドドリップコーヒーと、手作りのスイーツやカレーを提供しています。

この日はコーヒーと一緒に、定番スイーツのスコーンとチーズケーキを食べ、「どちらも、ほどよい甘さでコーヒーに合う」と美帆さん。ドリンク担当・和志さんは「コーヒーの味はどうやって決めていますか」という質問。「コーヒーらしい苦味をベースに、お客様の反応を見ながら調整を続けています」と返す青山さんは、新店ならではの柔軟を感じます。その言葉を聞いた和志さんは「お菓子のおいしさを引き立てる、お客様に喜んでもらえる一杯を僕も淹れたい」と意気込みました。



ROMALIA COFFEE
(ロマリアコーヒー)
住 所 南相馬市原町区錦町2丁目 68-5
営業時間 10:00～17:00
定 休 日 月曜日
instgram romalia_coffee

「cafe' NicoNico-do'」は、花やハーブが旺盛に茂った庭がまるで絵本に出てきそうな佇まい。マフィンなどの焼き菓子やオーダーメイドのケーキが人気です。ショーケースに並ぶケーキを見つめて「まるで芸術作品のよう」と目をキラキラさせる美帆さん。その様子を見た高橋さんは、「見たときに気分が上がるようなお菓子をつくりたいんです」と嬉しそうに微笑みます。ケーキを食べた松野夫妻は「材料はどこで買っていますか」と仕入れ先にも興味津々。菓子商材の宅配サービスのほか、鮮度が大事な果物などは南相馬市内外の市場に足を運び、高橋さん自身が納得できるものを選んでいるそうです。

DIYで整えたという店内には、開店当初からコツコツ集めた古道具もたくさん。「思い描いたお店にするには、自分の手でやるしかなかった」という高橋さんの言葉に、2人は深くうなづいていました。



cafe' NicoNico-do'
(カフェニコニコドウ)
住 所 南相馬市鹿島区北海老字藤金沢110
営業時間 11:00～18:00 (完売次第終了)
定 休 日 月・火・水曜日
instgram cafeniconicodo



地元に根付いたお店だからこそ話が聞きたいという松野夫妻に連れられ到着したのは、鹿島の商店街の中にある菓子処しお。甘くて香ばしい匂いがお店から漂ってきます。

黒糖風味のたい焼きは、先代がつくったオリジナル。「しおさんのたい焼きは、どうしてこんなにおいしいんだろうって不思議なんです」という美帆さんに「おいしくて安心安全なものを子どもたちに食べてもらいたいから、余計なものはいれないのが創業からのこだわりなんだ」と塩さんが答えます。取材中も続々と入る、たい焼きの注文。塩さんは、熱した焼き型に生地を流し、練りあがったばかりのこしあんを詰め、くるりくるりと型を返しながらたい焼きを仕上げていきます。和志さんは「ずっと変わらない味だからこそ、通うお客様もいるんでしょうね」と、長く続く菓子店の仕事をじっと見つめていました。



菓子処 しお
住 所 南相馬市鹿島区鹿島字町15
営業時間 10:00～17:30 (無くなり次第終了)
定 休 日 火曜日 (祝日の場合は営業、翌日休み)
電話番号 0244-46-2332

侍の日常 陸



相馬野馬追には多くの侍が出陣し、勇壮な姿を見せます。しかし、1年に3日間のハレの日以外は、侍たちは鎧を脱ぎ、各自の仕事や学業に打ち込み、暮らしているのです。

わがつま 我妻 隆 殿 (48)
役付：先頭御先乗



神旗争奪戦で旗を取る父に憧れて、高2で初出陣しました。初めて旗を取った年齢は覚えていないけど、旗を持って羊腸の坂を登っていくときの歓声は鳥肌が立つくくらい気持ちよくて忘れられないねえ。

甲冑競馬は、レベルの高い騎手が集まる第1レースにこだわっています。観客も注目するからこそ勝ちたくて、野馬追前

2ヶ月間は朝4時からの練習後に出勤です。まあ、娘たちと一緒に世話をしたり散歩させたり、普段は休日の楽しみです。妻と娘たちはフランダンスに打ち込んで、発表会に行くのが休日の楽しみです。年に数回はディズニーランドまで遠出することもある分、家族みんなで出かけるのが癒しの時間になっています。

my favorite MIYAGE
at Minamisoma

わたしの
推しあげ



Shop Information

所在地 〒979-2444 南相馬市鹿島区岡和田窪畑53
電話番号 0244-46-3163

注文はこちらから



その
4

豊田農園

純米大吟醸酒 soma

ちょっとした差し入れに、とっておきの贈り物に、メイドイン南相馬の一品はいかがでしょう？ 南相馬市で暮らす人々に、おすすめのおみやげと理由を教えてもらいました。

南相馬市の若い生産者の方たちが、丹精込めて栽培したお米を使用している純米大吟醸酒です。華やかな香りで口当たりがよく、癖のない飲みやすいお酒。和洋中を問わず多彩な料理に合わせができるおすすめの一本です。



抱月莊
高藤 明彦さん



▲周囲の人の着込み具合から、寒さがうかがえます

正月の気配がおぼろげに残る夜。鹿島の町には「火伏せー！」という威勢のいい声が響きわたります。見渡せば、水の入った桶があちこちに置かれ、雨が降ったわけでもないのに住宅や道路が濡れている……。一体なぜ？ その正体は「火伏せ祭り」。1200年前に始まった、無火災と無病息災を願う祭りです。

千年以上続く鎮火祭

鹿島御子神社の火伏せ祭り

2024 Winter
Minamisoma Topics

なんだか気になる みんなざざま

旬のニュース、意外と知らないことっておきの話などなど「なんだか気になる」南相馬市の話題をピックアップ！

鹿島の平穏を守る動物たち

イラスト：川田季代

鹿島中が火の海に包まれたところ、水を含んだ笹をくわえた鹿たちが集まり、業火を消したのが起きた後、約100名の若者たちが家や商店に水を打ちかけ歩きます。

月前半の土曜夕方から日曜早朝にかけて行われています。土曜日の前夜祭では、神主の祈祷後、約100名の若者たちが家や商店に水を打ちかけ歩きます。

極寒の中、若者が白足袋に法被姿で行列する様子などから、火伏せ祭りは奇祭と言われることもあるようです。住民たちは屋内から様子を見て頃合いを計り、軒先や火焚場所でご一行をお出迎え。豚汁や酒など、寒さをひと時忘れられるような振る舞いをし、暖をとりながら一緒に祭りを楽しめます。ワイワイする雰囲気に引き込まれる若者も多く、行列を最後まで歩きるのは約半数ほど。「終着点の秋葉神社まで歩けたら一人前と言われた時代もありました」と、火伏せ祭りを執り行う宮司の森昭文さんは話します。

翌朝の天燈籠祭には、一年の安寧を願いに人々が集まります。神主は獅子頭に齧られるお祓いを受けた後、「ご祝儀」の掛け声とともに氏子らに冷水を浴びせられ、濡れたままの装束でご祈祷を行うのです。「正直、震えるほど寒くて大変。清められた状態で願うから受けられるご利益もあるはずとて、なんとか耐えます」と笑みも見せる森さん。厳しい寒さも楽しんでこそよき一年を迎えるかもしれませんね。



鹿



獅子

住んでいる場所を問わず、どなたでも参加することができます。行列に加わるのはもちろん、住民に混ざって若者たちを迎えたり、火伏せ祭りならではの光景を写真におさめたり。気になった方は自分に合うスタンスで、火伏せ祭りをぜひ楽しみに来てください！

火伏せ祭りに参加してみませんか？



鹿島御子神社
宮司
森 昭文さん

お問い合わせ
鹿島御子神社

所在地：南相馬市鹿島区鹿島字町199
電話：0244-46-2373

鹿は、鹿島御子神社の神使。行列に参加する若者たちは、笹をくわえた鹿と社紋が入った纏のイラストが描かれた木札を首にかけ、町内をまわる

南相馬市のイベント

3月	2 [土] 下旬	南相馬市サポーターズツアー（～3/3） 夜の森公園ライトアップ	P10の『火伏せ祭り』で登場する獅子の神楽も披露されます！
4月	中旬	万葉の里かしま春まつり	
	28 [日]	第81回相馬野馬追振興春季競馬大会	
5月	25 [土]	御縁り出し、 総大将お迎え、 宵乗り競馬 ほか	間近で侍の口上 や騎馬を見る事 が出来ます。
	26 [日]	相馬野馬追 お行列、 甲冑競馬、 神旗争奪戦 ほか	
	27 [月]	野馬懸	
6月	9 [日]	第32回 相馬流れ山全国大会	相馬中村藩の国歌 「相馬流れ山」の歌 い手が大集合します。
	30 [日]	小高つながる市	
7月	中旬	北泉海水浴場開設 （～8月中旬）	サーフィン教室も 開催予定です。 今年の夏こそサー フィンに挑戦！
⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮

※上記の他にもイベント盛りだくさん。

南相馬市のwebサイト、SNS等も
ぜひチェックしてみてください。

『みなみそうまからはじめよう』Instagram



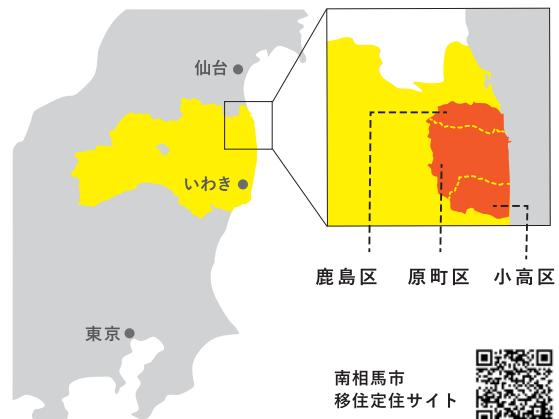
ミナミソウマガジン 編集後記

夢に向かう松野さんご夫妻と巡った南相馬のステキなお店。普段は聞くことのできない店主の熱い想いやこだわりを聞くことができ、今までよりもさらに深くそのおやつを味わうことができました。南相馬のおいしい魅力を再発見しながら、これからオープンする2人のお店がどのようにまちを彩ってくれるのか楽しみに待っています。

南相馬市とは？

南相馬市は福島県浜通り北部に位置し、温暖で降雪も少ない暮らしやすい地域です。東京からの距離は292km。いわき市と宮城県仙台市のはば中間にあります。

一千有余年の歴史をもつ国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」が根づいている一方、未来への期待ふくらむロボット産業の集積や、若手起業家による地域に根ざしたなりわいづくりなど、新しいことが始まっているおもしろい地域です。



南相馬市ふるさと応援寄付金サイトはこちら



ミナミソウマガジンとは？

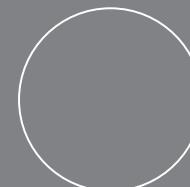
南相馬市の「いま」を伝えるため2019年1月に創刊した1号1テーマの特集と連載からなる会報誌です。読者は南相馬市のサポーター会員。サポーターには、市外に住んでいて南相馬市と関わりを深めたい方や移住を検討されている方なら誰でも無料で登録できます。南相馬市の情報や暮らしをお伝えします。

「ミナミソウマガジン」が届く！

『南相馬市サポーター』
登録はこちらから



2024 winter



発行元：南相馬市役所

統括編集長：山田勇人（南相馬市役所）

アートディレクション・デザイン：西山里佳（marutt Inc.）

編集：執筆：小野民、執筆：蔵田志保

写真：鈴木宇宙、齋藤亮太（marutt Inc.）

表紙クッキー制作：cafe'NicoNico-do'

制作：

（南相馬市役所）浜口周也、大和田智之、吉田亜衣、鈴木のぞみ、遠藤恵子

（一般社団法人 南相馬観光協会）栗村文夫、五賀麻弓

発行日：2024年1月15日

問い合わせ：南相馬市サポーター事務局（南相馬市役所内）

〒975-8686 福島県南相馬市原町区本町二丁目27番地 / TEL : 0244-22-2111

<https://www.city.minamisoma.lg.jp/>